

## 參考資料

# 参考資料1 現況分析及び課題の整理

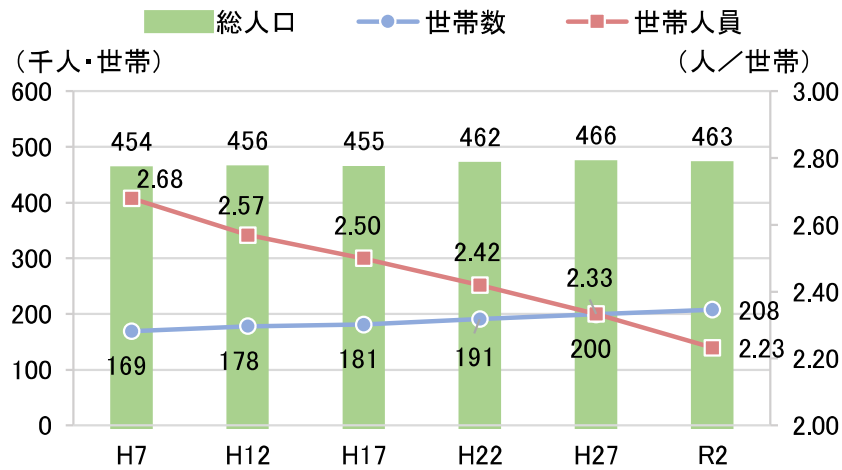
## 1 人口分布や市街地の変化

### (1) 人口・世帯

#### 1) 人口・世帯数・年齢別人口

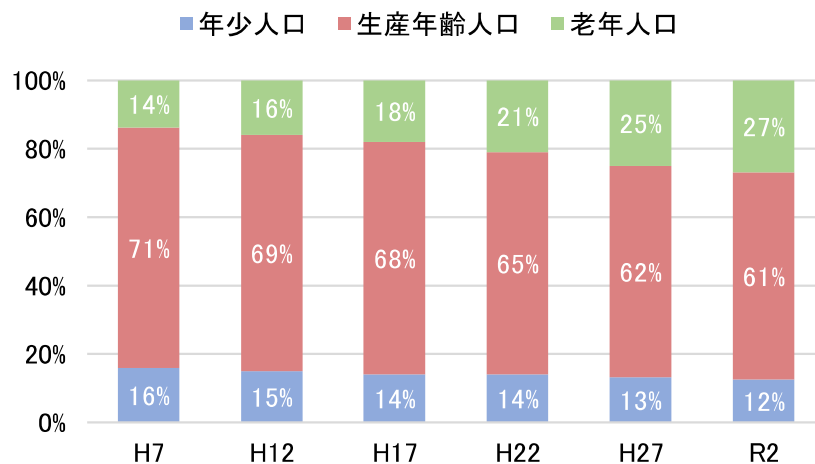
- ・金沢市の人口（国勢調査）は、R2年では46.3万人であり、H27年に比べ約3千人減少したが、世帯数は208千世帯と一貫して増加している。
- ・年齢別人口では、少子高齢化が進行しており、特に郊外や中山間地域で高齢化率50%を超えているほか、中心部でも高齢化率が高くなっている。

#### ▼人口・世帯数・世帯人員の推移



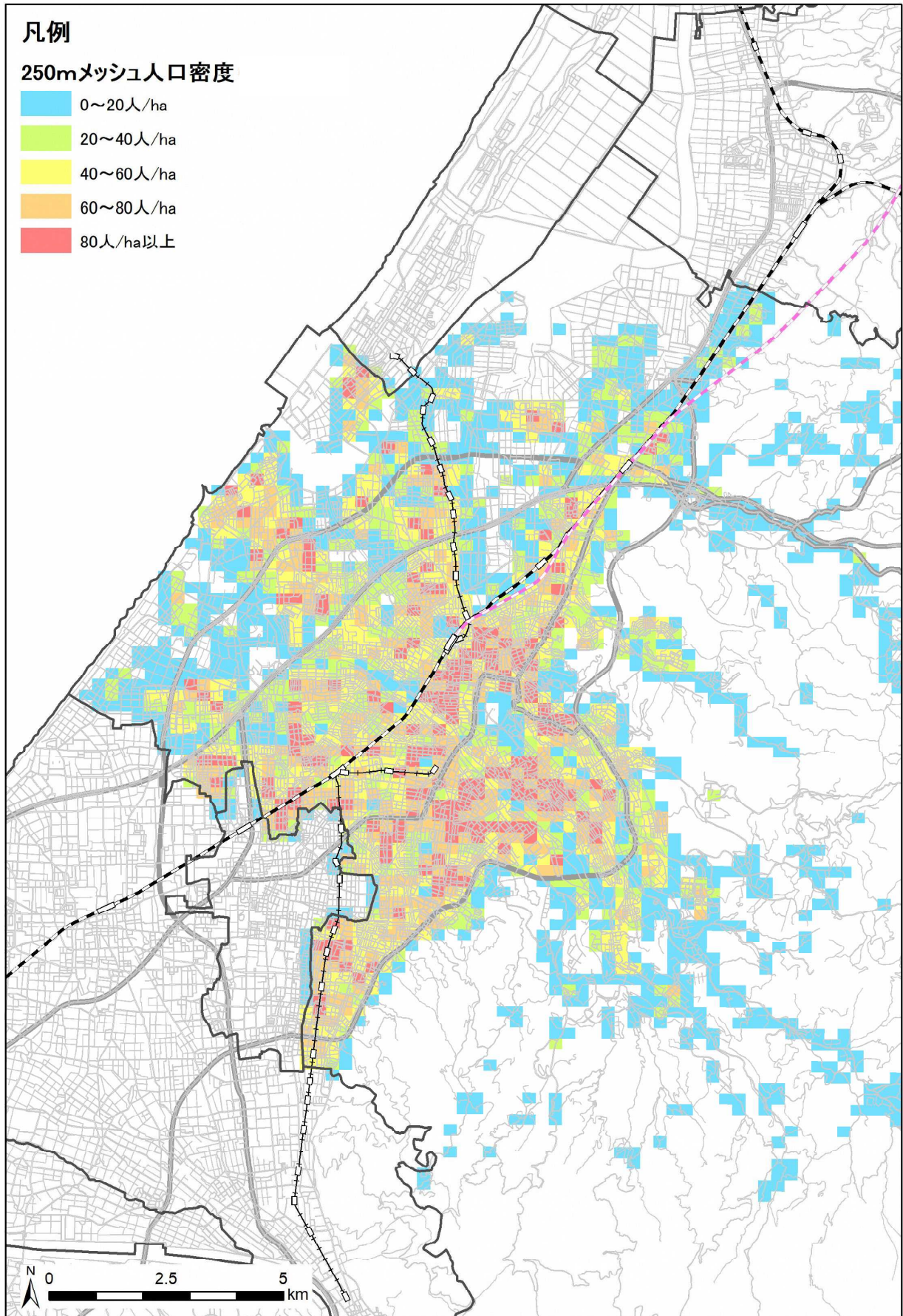
出典：国勢調査

#### ▼年齢別人口の推移



出典：国勢調査

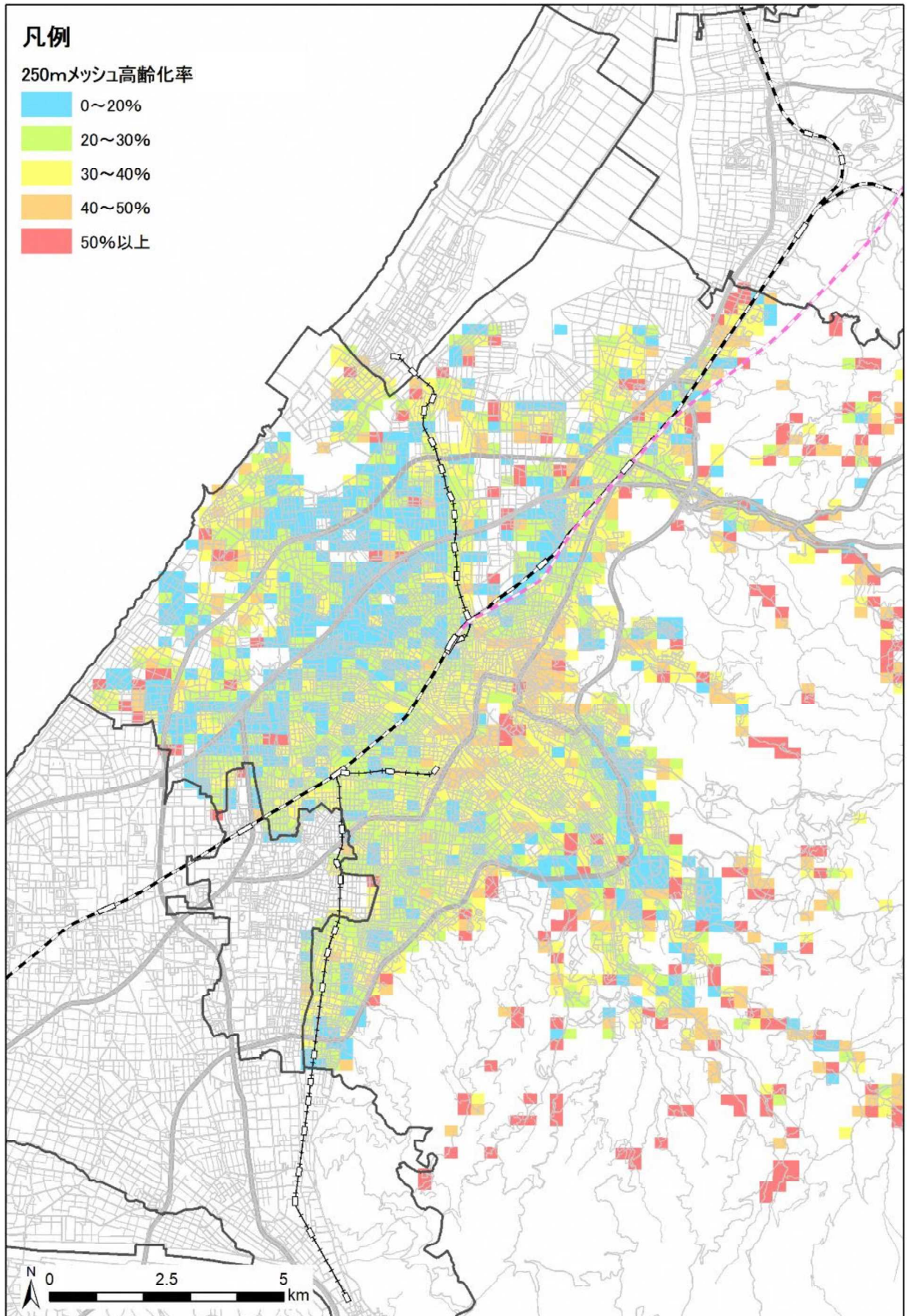
▼人口密度分布（R2.4時点）



出典：住民基本台帳データを基に集計



▼高齢化率（R2.4時点）



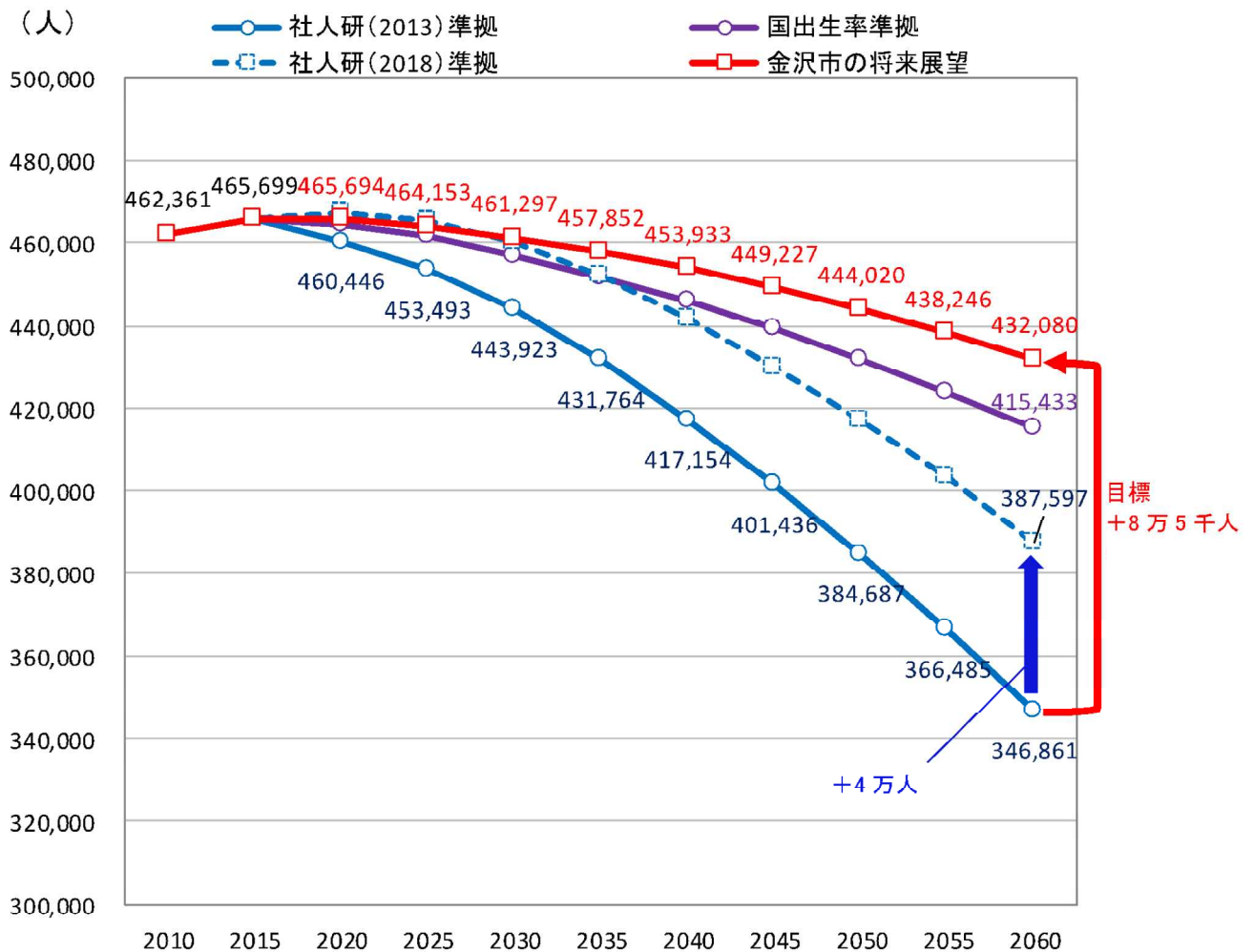
出典：住民基本台帳データ



## 2) 将来人口

- ・金沢市人口ビジョン（R2.3）では、自然動態・社会動態の両面において、市独自の施策を講じることにより、2060年の本市の人口を社人研推計（2013年）準拠より8.5万人増の43.2万人とすることを旨とするとしている（10年後の2030年は46.1万人）。
- ・小学校区別の将来の人口密度は、このままの状況が続いた場合（社人研推計準拠）、まちなか・郊外ともに低下し、JR・IR線以北では40人/ha未満になる小学校区もみられる一方、65歳以上の高齢者は多くの小学校区で増加すると予測されている。

### ▼人口の長期見通し



#### 人口推計 算出のための仮定

社人研推計（2013）準拠に対し、施策効果として下記の条件を仮定しシミュレーションを実施

#### ○国出生率準拠（＝ビジョン当初策定時（H27）におけるパターン①）

- (i) 合計特殊出生率が2020年に1.6、2030年に1.8、2040年に人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.07）まで上昇

#### ○金沢市の将来展望（＝ビジョン当初策定時（H27）におけるパターン②）

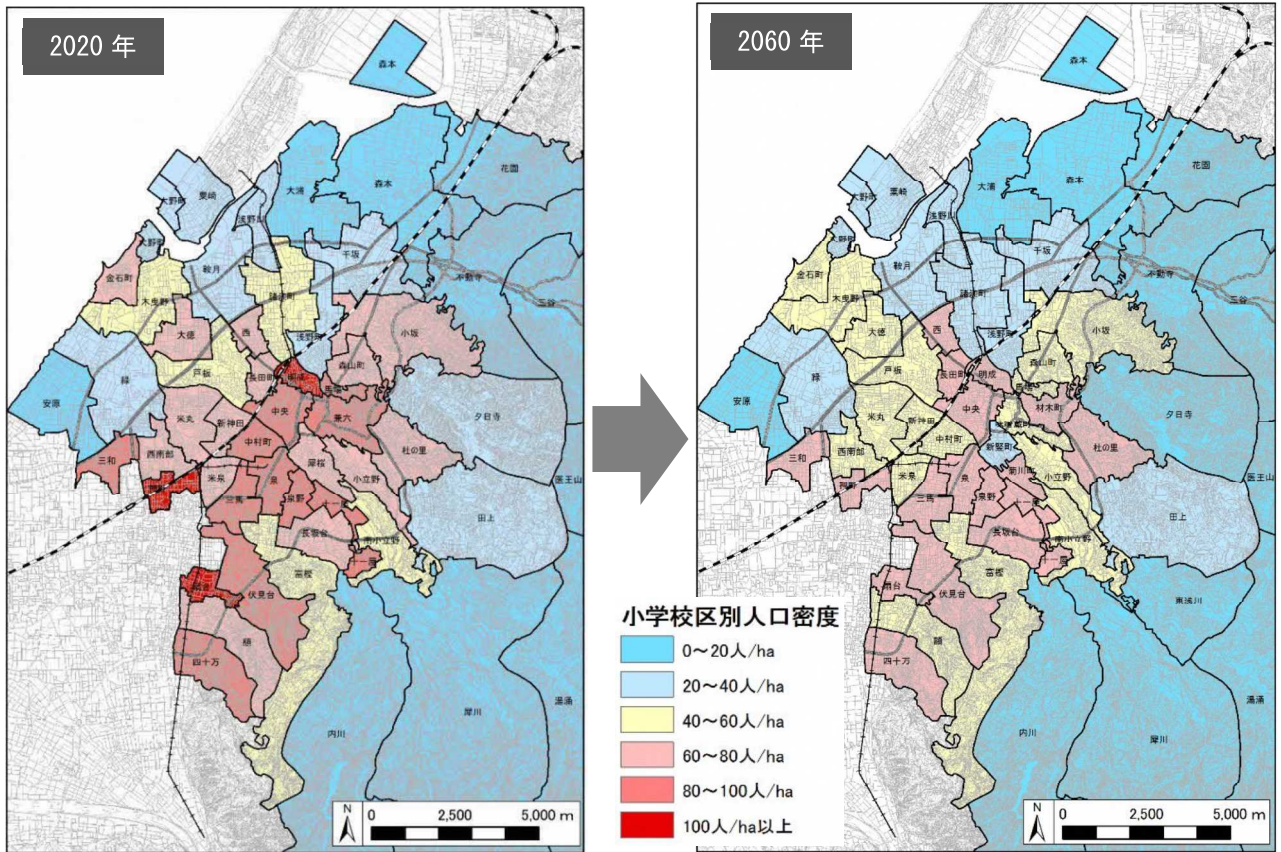
上記（i）に加えて、下記を参入し推計

- (ii) 20-24歳及び25-29歳の転出を200人/年 抑制  
 (iii) 20代後半（25-29歳）の夫婦+子ども1人の世帯を10世帯 転入促進

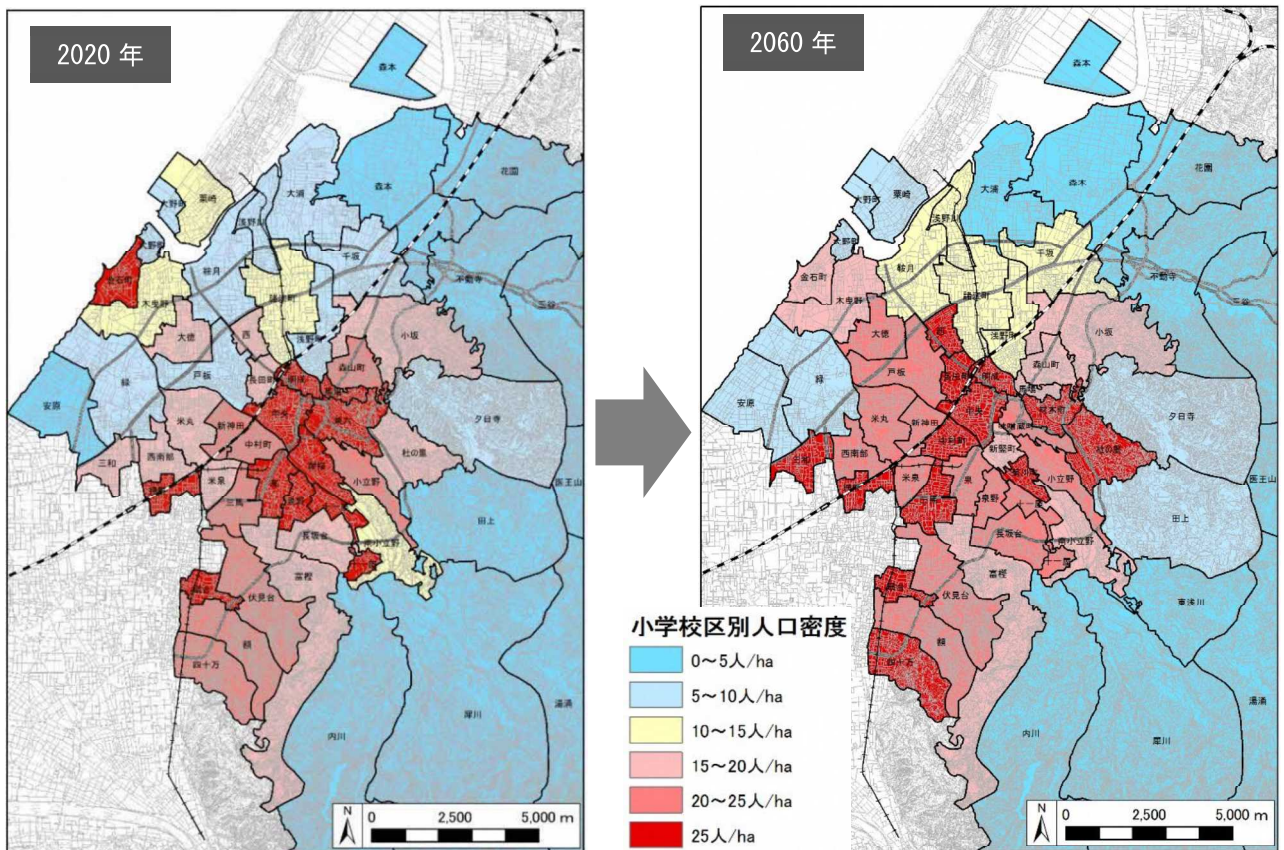
出典：金沢市人口ビジョン【改訂版】（R2.3）



▼将来の人口密度 ※このままの状況が続いた場合の推計（社人研推計準拠）



▼将来の老年人口密度 ※このままの状況が続いた場合の推計（社人研推計準拠）



出典：金沢市集約都市形成計画（R5.3）



## (2) 市街地の状況

### 1) DID (人口集中地区) の推移

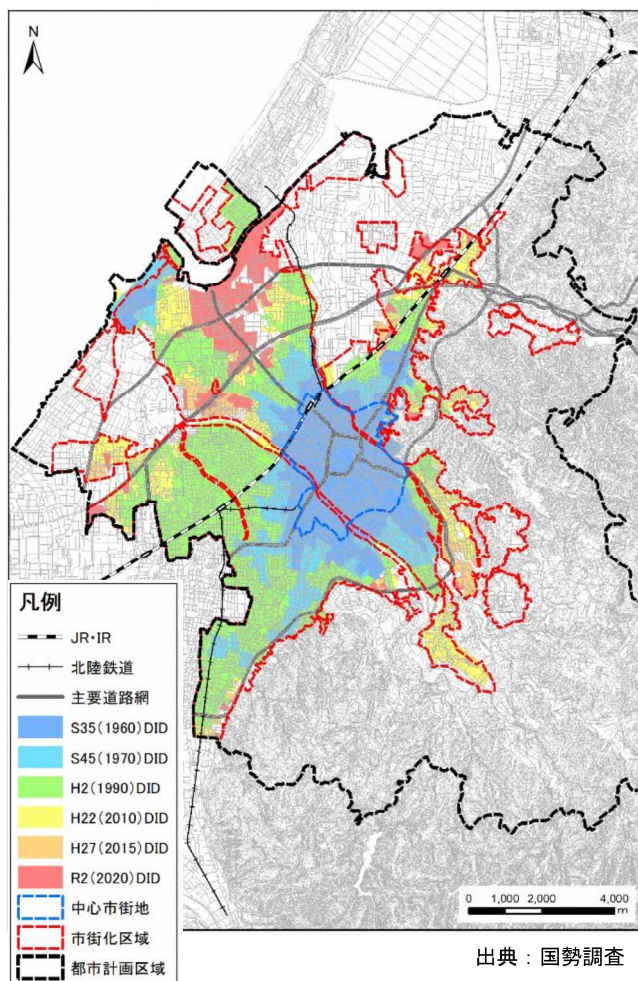
・人口増加の受け皿として、土地区画整理事業により市街地（DID）が拡大してきたが、人口の増加に対して面積が大幅に拡大したため、DIDの人口密度は低密度化している。

DID人口 : S40 2,316 百人 ⇒ R2 3,992 百人 (+1,676 百人、+72%)

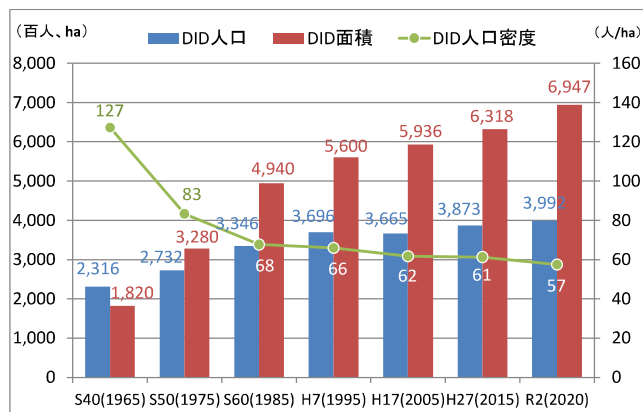
DID面積 : S40 1,820 ha ⇒ R2 6,947 ha (+5,127ha、+282%)

DID密度 : S40 127 人/ha ⇒ R2 57 人/ha (-70 人/ha、-55%)

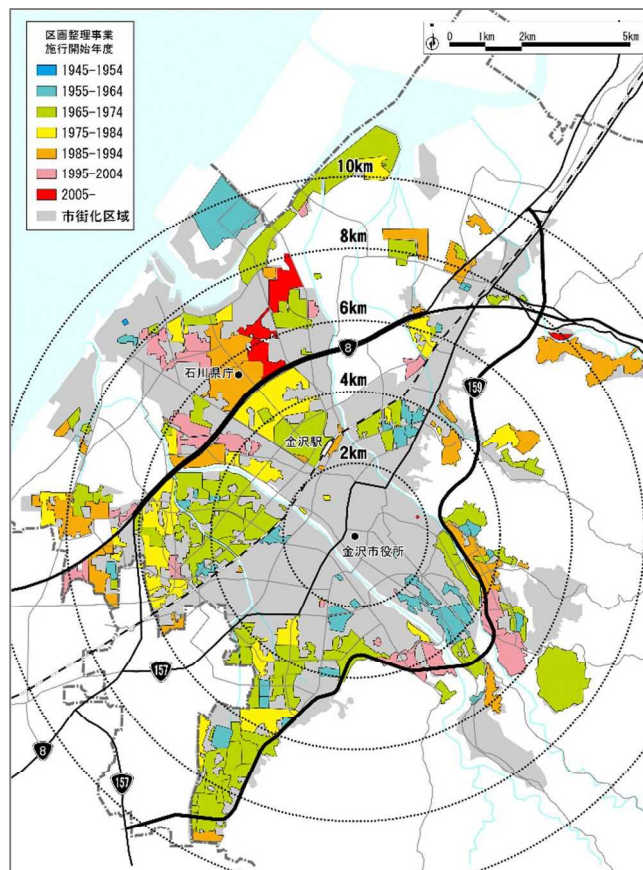
#### ▼DIDの変遷



#### ▼DID人口・面積の推移



#### ▼土地区画整理事業の変遷

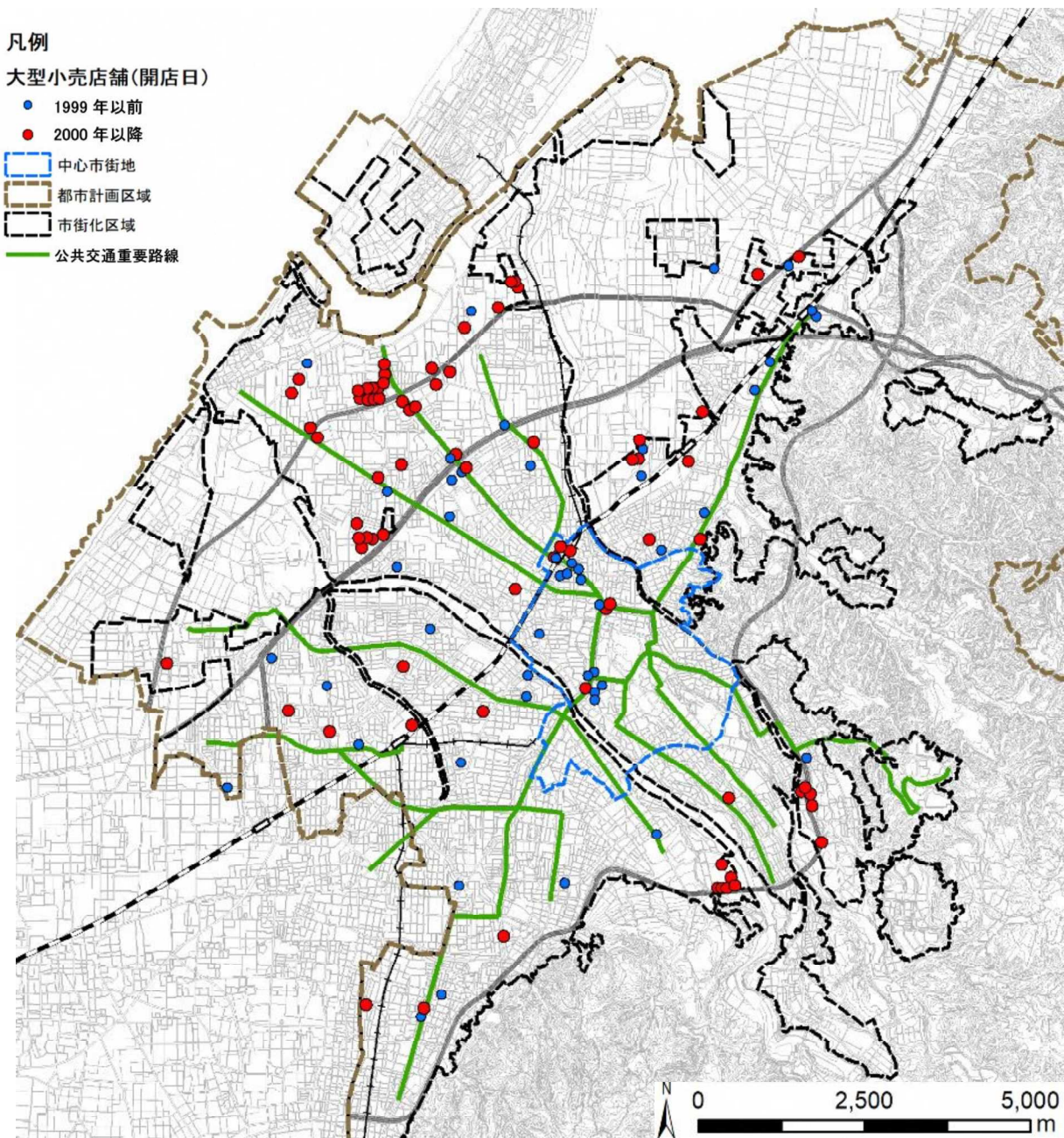




## 2) 大規模小売店舗の立地状況

・大規模小売店舗の立地を見ると、近年はまちなかよりも、金沢外環状道路（海側幹線・山側幹線）や国道8号などの郊外への立地が進んでいる。

### ▼大規模小売店舗の立地状況



出典：「大規模小売店舗一覧(R3.2.1現在)」を基に作成

## 2 交通の状況

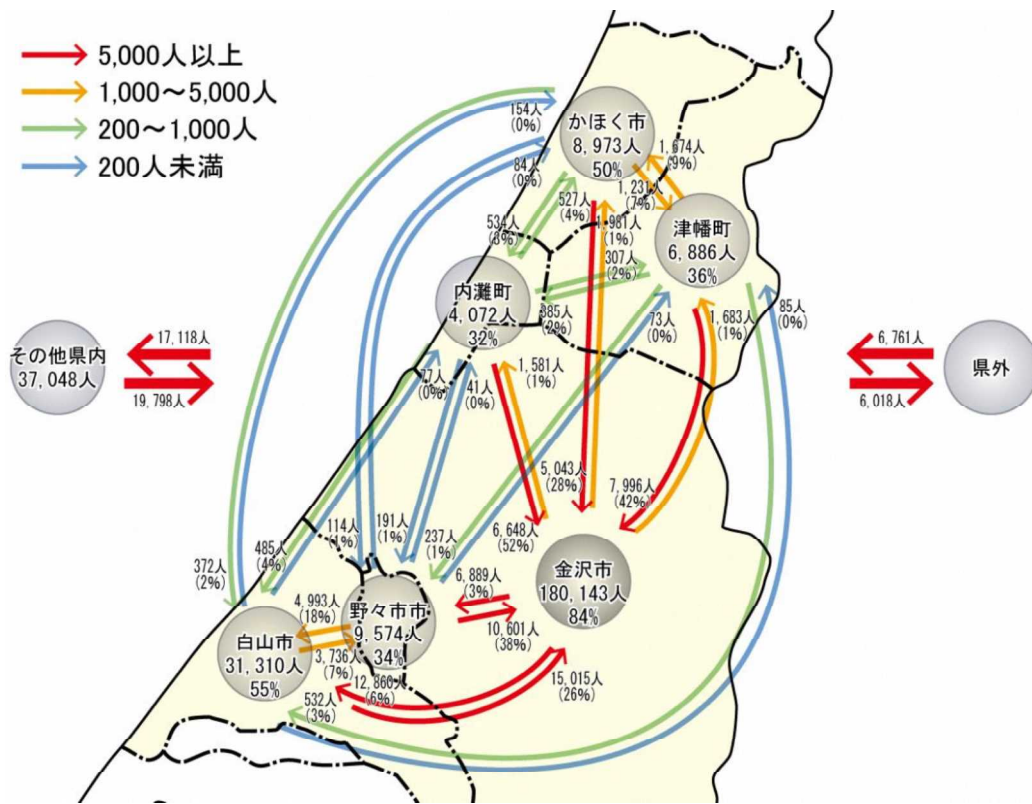
### (1) 移動状況

#### 1) 通勤・通学

- ・本市在住者の通勤・通学先は、「自市町内」が80%を超え、「都市圏内」が約10%（白山市、野々市市が多い）、「都市圏外」が5%以下となっている。
- ・代表交通手段（R2年）は、「自家用車」が約66%と最も多く、「公共交通（鉄道・バス、乗合バス、勤め先・学校のバス）」は約9%となっている。

#### ▼通勤状況（R2）

※「その他県内」「県外」は都市圏全体の数値



#### ▼石川県中央都市圏の通勤・通学状況（R2）

住まい	通勤通学先	目的地								合計	通勤通学先別					
		金沢市	白山市	かほく市	野々市市	津幡町	内灘町	その他県内	県外		自市町内	都市圏内	都市圏外			
金沢市	通勤	180,143	12,860	1,981	6,889	1,683	1,581	6,294	3,744	215,175	180,143	84%	24,994	12%	10,038	5%
	通学	21,476	549	107	1,232	268	113	176	490	24,411	21,476	88%	2,269	9%	666	3%
白山市	通勤	15,015	31,310	154	3,736	85	77	6,488	571	57,436	31,310	55%	19,067	33%	7,059	12%
	通学	2,738	1,824	26	469	73	12	321	140	5,603	1,824	33%	3,318	59%	461	8%
かほく市	通勤	5,043	372	8,973	114	1,231	534	1,306	293	17,866	8,973	50%	7,294	41%	1,599	9%
	通学	859	23	315	26	127	11	237	38	1,636	315	19%	1,046	64%	275	17%
野々市市	通勤	10,601	4,993	84	9,574	73	41	2,137	400	27,903	9,574	34%	15,792	57%	2,537	9%
	通学	1,301	246	10	2,329	26	5	43	46	4,006	2,329	58%	1,588	40%	89	2%
津幡町	通勤	7,996	532	1,674	237	6,886	385	572	810	19,092	6,886	36%	10,824	57%	1,382	7%
	通学	1,090	40	12	51	664	8	91	80	2,036	664	33%	1,201	59%	171	8%
内灘町	通勤	6,648	485	527	191	307	4,072	321	200	12,751	4,072	32%	8,158	64%	521	4%
	通学	744	26	13	37	37	786	13	22	1,678	786	47%	857	51%	35	2%
合計	通勤	225,446	50,552	13,393	20,741	10,265	6,690	17,118	6,018	350,223	240,958	69%	86,129	25%	23,136	7%
	通学	28,208	2,708	483	4,144	1,195	935	881	816	39,370	27,394	70%	10,279	26%	1,697	4%

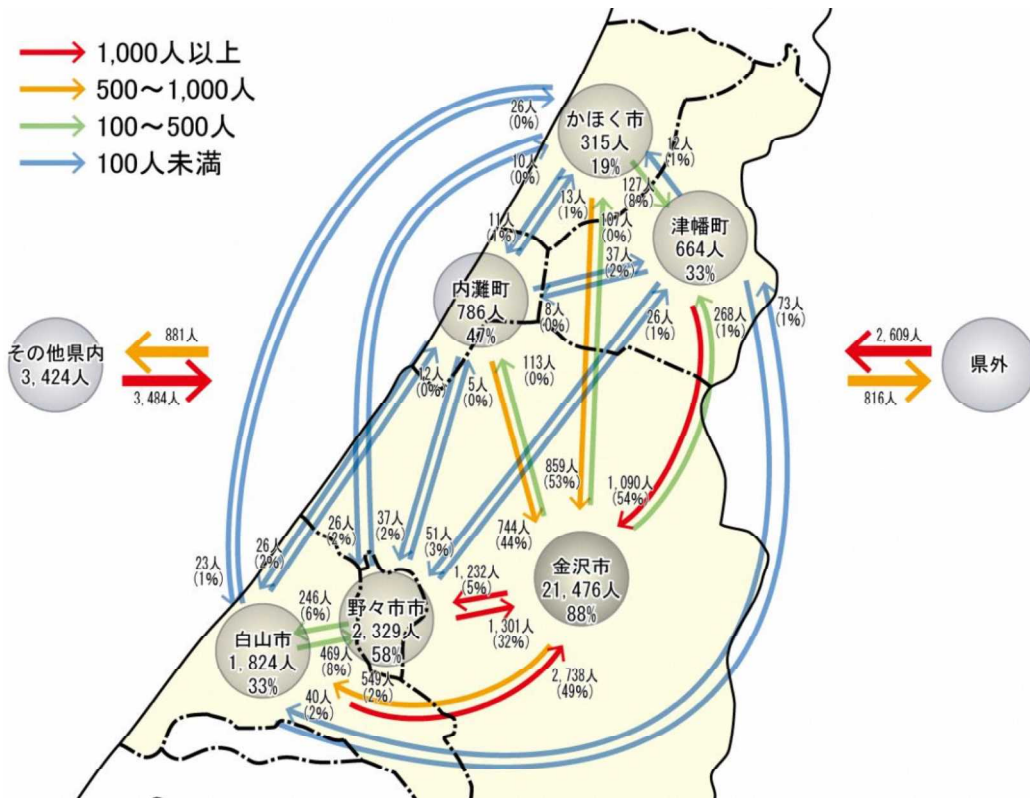
※「不詳・外国」は除く

出典：国勢調査



▼通学状況（R2）

※「その他県内」「県外」は都市圏全体の数値



▼代表交通手段（R2）

	金沢市	白山市	かほく市	野々市市	津幡町	内灘町	合計		
I 利用交通手段が1種類	徒歩だけ	20,253	2,271	916	2,066	787	1,188	27,481	7.6%
	鉄道・電車	3,573	1,814	934	756	1,026	363	8,466	2.3%
	乗合バス	15,208	499	23	735	42	107	16,614	4.6%
	勤め先・学校のバス	1,563	338	123	204	85	95	2,408	0.7%
	自家用車	146,662	46,579	14,221	21,343	15,625	10,297	254,727	70.5%
	ハイヤー・タクシー	278	13	1	18	2	3	315	0.1%
	オートバイ	1,363	134	42	99	32	47	1,717	0.5%
	自転車	17,453	2,836	367	2,815	556	463	24,490	6.8%
	その他	2,492	484	156	267	165	148	3,712	1.0%
II 利用交通手段が2種類	11,841	2,785	695	1,399	1,186	679	18,585	5.1%	
III 利用交通手段が3種類以上	1,725	498	120	187	221	122	2,873	0.8%	
総数(利用交通手段)	222,411	58,251	17,598	29,889	19,727	13,512	361,388	100.0%	

※常住地による15歳以上自宅外就業者・通学者数、「不詳」は除く

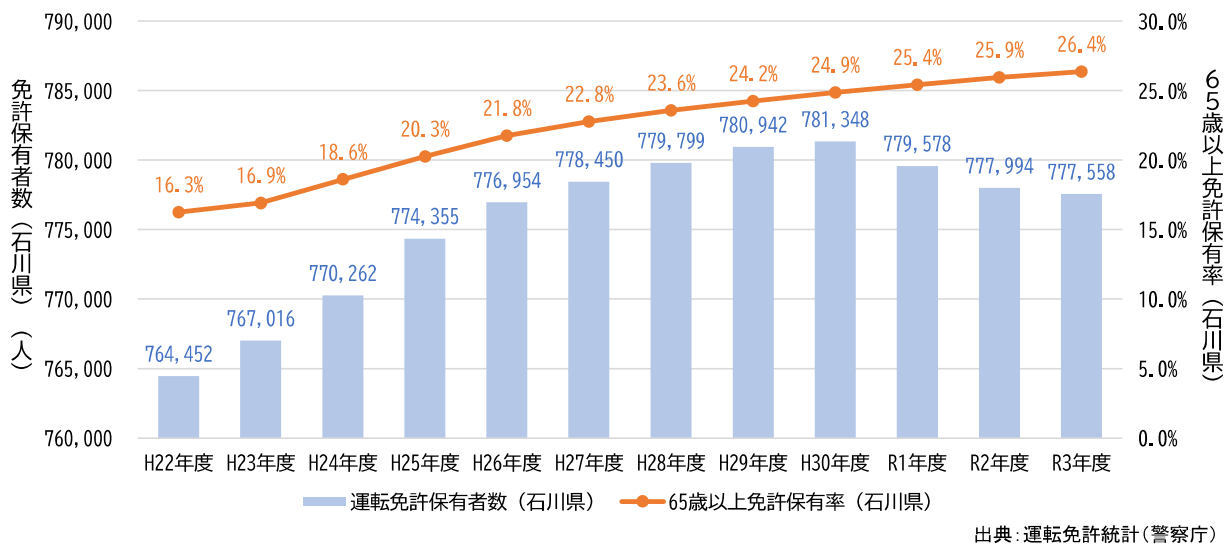
出典：国勢調査(R2)



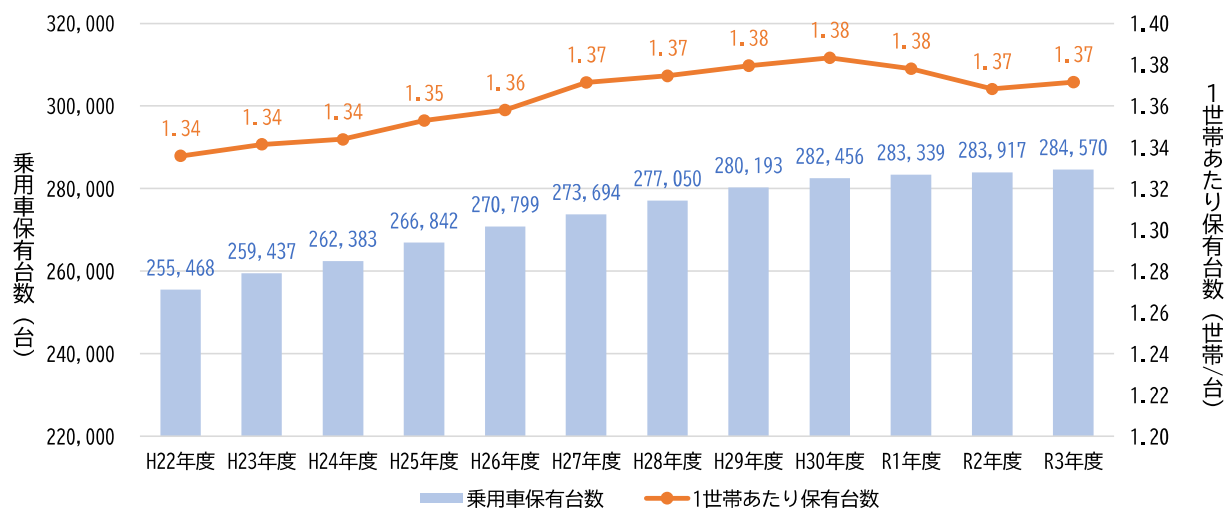
## 2) 運転免許・乗用車の保有状況

- ・石川県全体の運転免許保有者数はこれまで増加し続け、H30年度は78.1万人となったが、R3年度には77.8万人に減少している。一方、65歳以上の免許保有率はH22年度の16.3%から増加し続けており、R3年度には26.4%まで増加している。
- ・乗用車保有台数は年々増加しており、R3年度は28.5万台まで増加している。一方、全国的に65歳以上の高齢者がいる世帯の割合（特に単独世帯や夫婦のみの世帯）が増えており、世帯の高齢化が進んでいるが、1世帯当たり乗用車保有台数は近年横ばいで推移している。

### ▼運転免許保有率（石川県）



### ▼乗用車保有状況

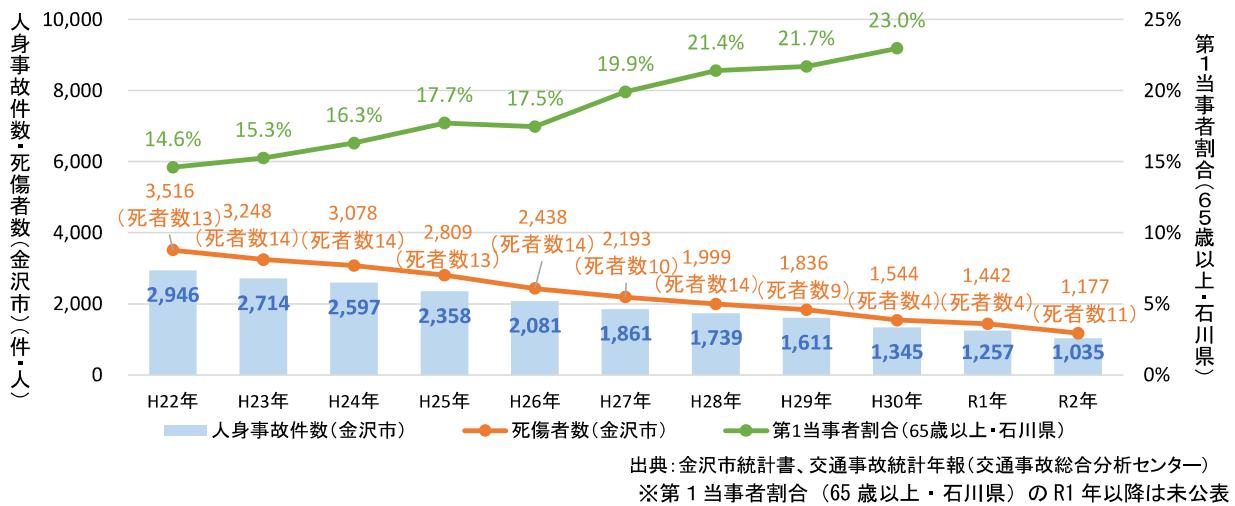


出典：石川県市郡別・車種別・用途別の保有車両数（石川運輸支局）、石川県の人口と世帯（石川県）  
 ※乗用車＝乗用普通車（自家用）＋乗用小型車（自家用）＋乗用軽自動車

### 3) 交通事故の発生状況

・本市の人身事故件数・死傷者数は年々減少傾向にあり、R2年には1,035件、1,177人（うち、死者11人）となっている。また、県内の人身事故の第1当事者における65歳以上の割合は年々増加し、H30年には23%となっている。

#### ▼交通事故発生状況の推移

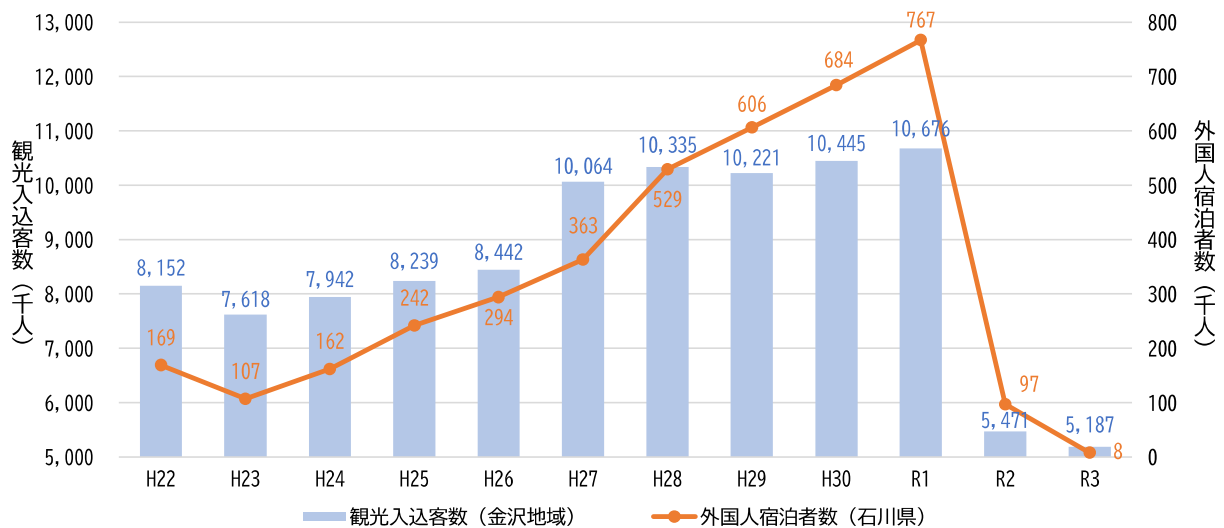


### 4) 観光入込客数

・観光入込客数(金沢地域)は増加傾向にあり、H22年の815万人に対し、R1年には1,068万人に増加(+252万人、+31%)しているが、R2年以降はコロナ禍の影響で大きく減少し、R3年時点で519万人となっている。

・石川県における外国人宿泊者数も年々増加しており、H22年の16.9万人に対し、R1年には76.7万人に増加(+59.8万人、約4.5倍)しているが、R2年以降はコロナ禍の影響で大きく減少し、R3年時点で0.8万人となっている。

#### ▼国内観光客、訪日外国人観光客の推移



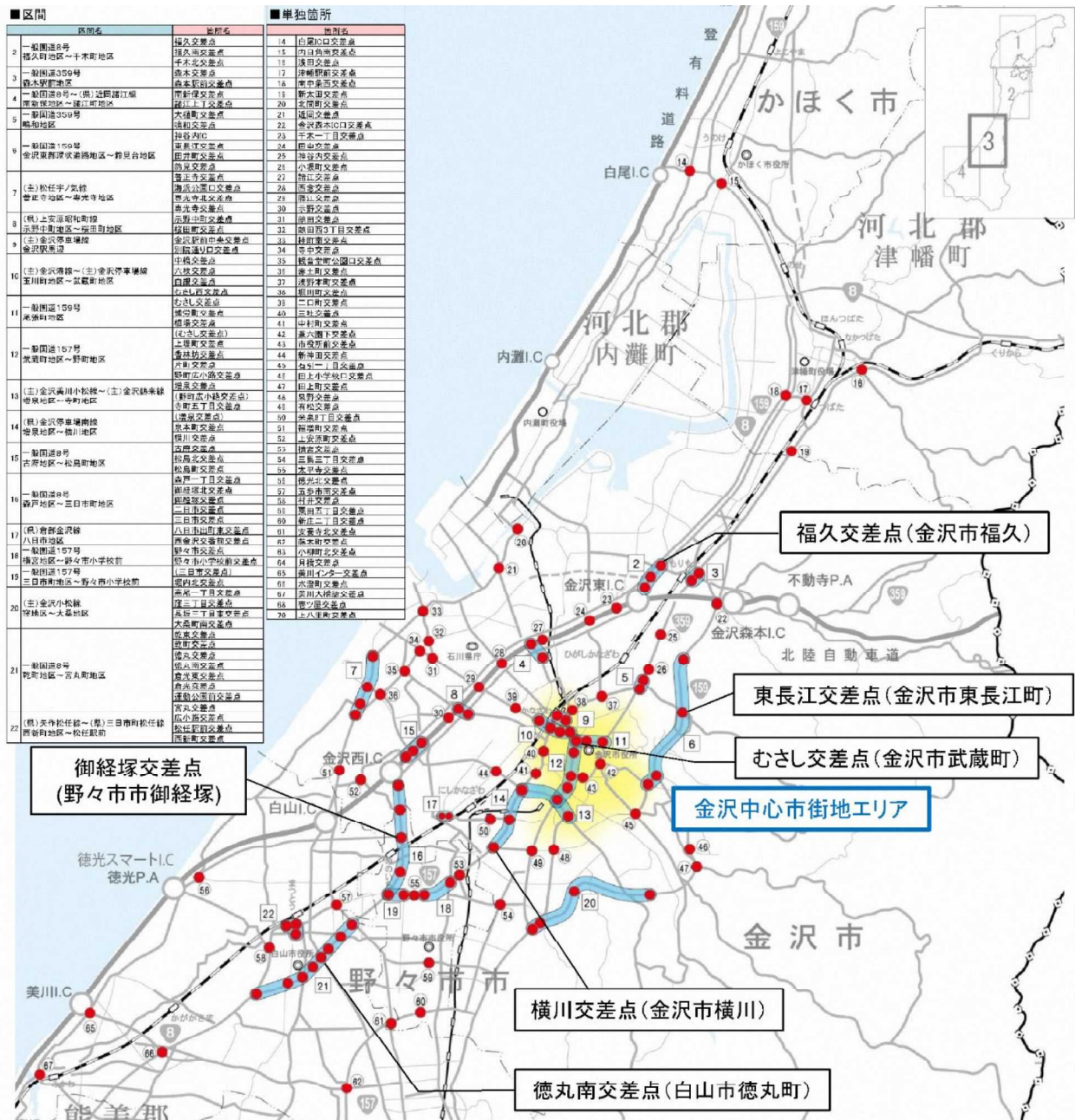
## (2) 道路交通

### 1) 自動車交通量・道路混雑状況

- ・ 県内の主要渋滞箇所\*は 152 箇所特定されており、その多くが金沢都市圏に存在し、特に金沢市中心市街地エリアや国道 8 号に集中している。
- ・ 県内における直轄国道の渋滞損失時間は、金沢地域(金沢市～白山市)が高くなっており、県内合計の約 8 割が集中している。
- ・ 平日のコロナ禍前後 (R1 年、R2 年) における断面交通量は、金沢市中心市街地 (国道 157 号 金沢市南町) においてもっとも減少率が大きく、R4 年 5 月時点においても回復しきっていない。

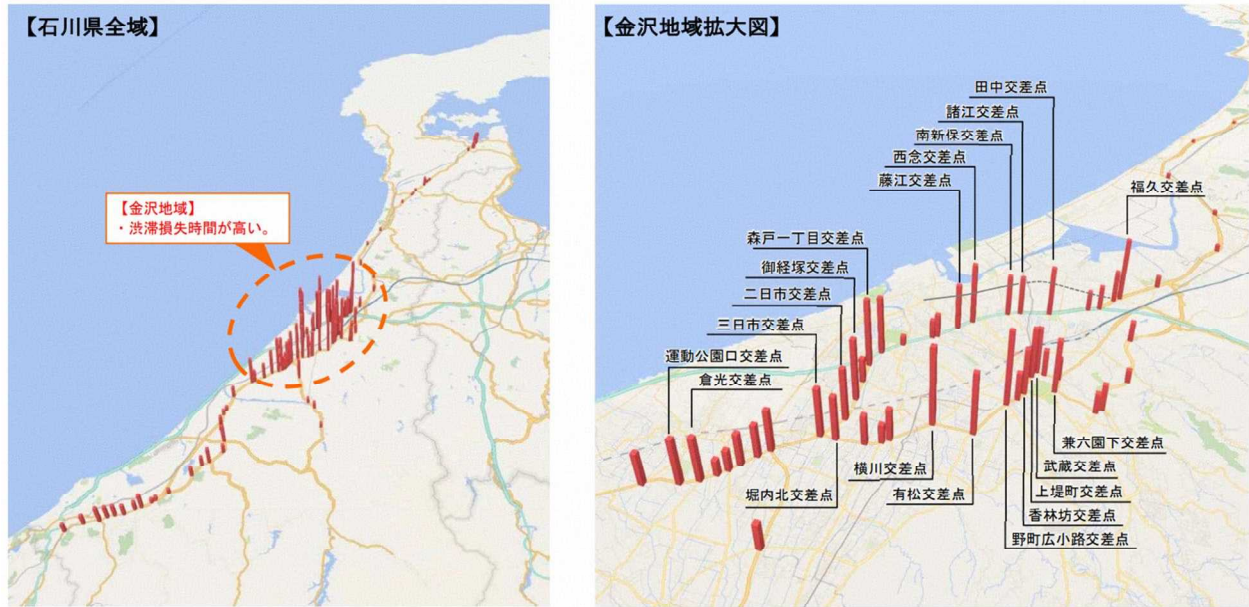
※「石川県道路安全・円滑化検討委員会」において、渋滞箇所の的確な把握方法について検討し、道路利用者が実感している渋滞箇所等を「地域の主要渋滞箇所」として選定している。

#### ▼主要渋滞箇所 (金沢都市圏)



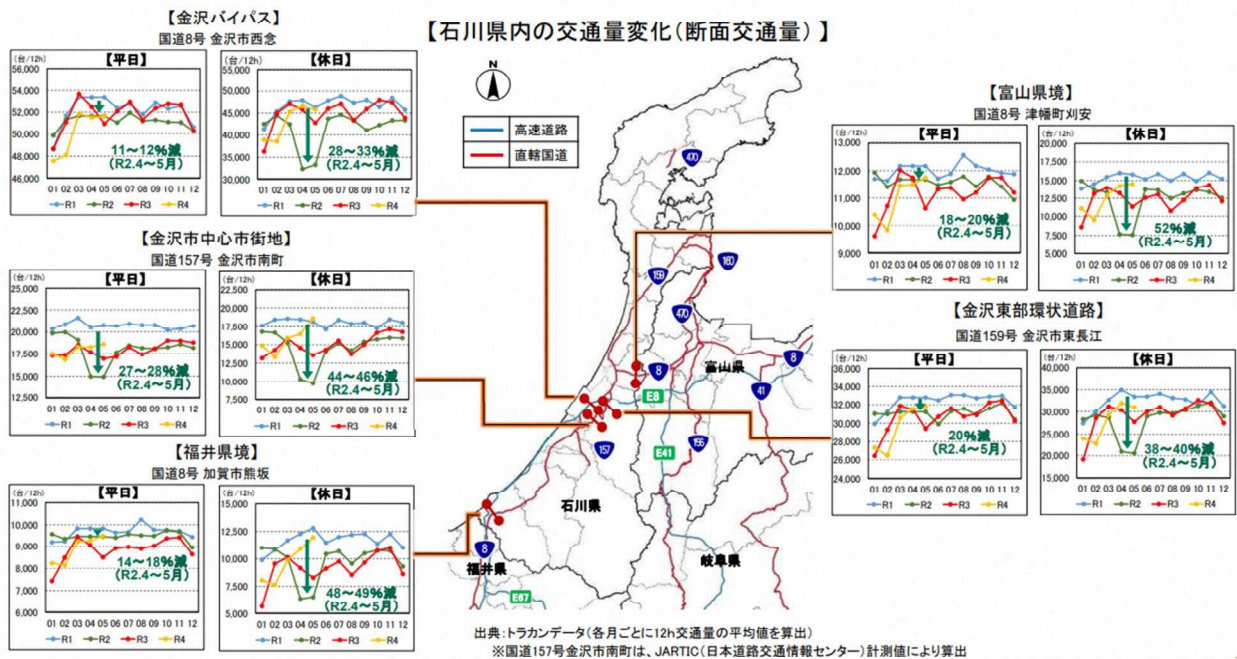


▼石川県内直轄国道の交差点損失時間分布図



出典：第23回 石川県道路安全・円滑化検討委員会資料（R4. 8）

▼石川県内の交通量変化（断面交通量）



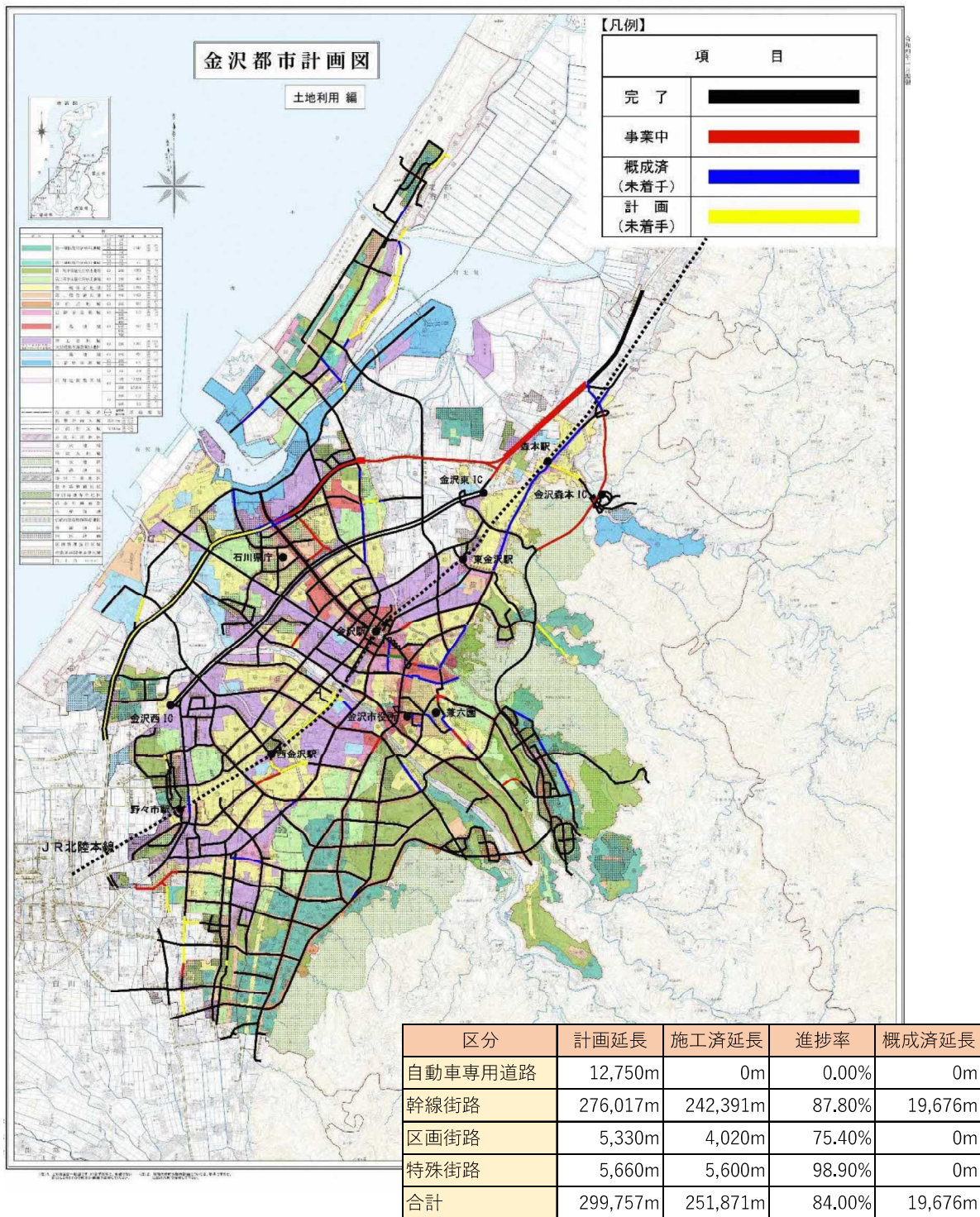
出典：第23回 石川県道路安全・円滑化検討委員会資料（R4. 8）



## 2) 都市計画道路の整備状況

・都市計画道路の整備状況（R 4. 3. 31 時点）は 84%に達し、骨格となる道路網はほぼ整備されている。

▼都市計画道路整備状況図（R 4. 3. 31 時点）



出典：金沢市

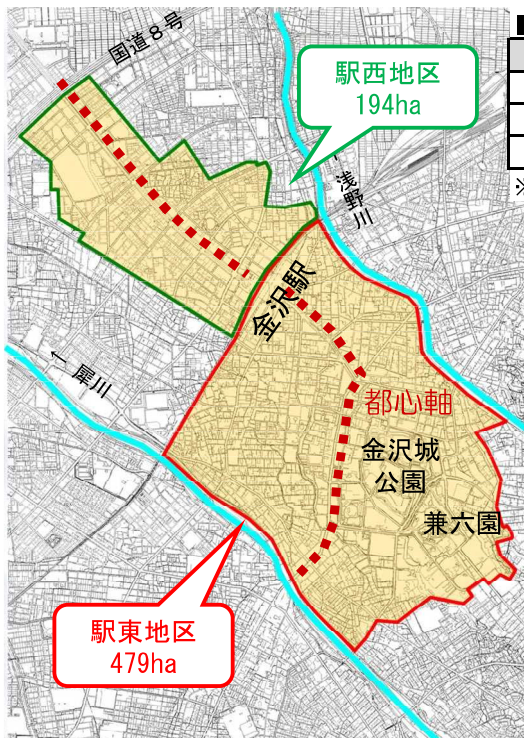
### 3) 駐車場の整備状況

- ・金沢市の駐車場整備地区内の駐車場整備台数は、R4年時点で6.9万台であり、駅西地区の開発等によりH28年に比べ約3,000台増加している。
- ・一方、R14年(2032年)の必要台数は4.1万台と推計され、将来の駐車需要に対しても対応可能と考えられ、駐車場の適正配置を推進する必要がある。

#### ▼駐車場整備台数

	種別	2016年(H28) 実績	2022年(R4) 実績	増減台数	増減率
JR・IR 以西地区	時間貸し	3,244	5,155	1,911	58.9%
	月極	6,262	5,322	-940	-15.0%
	専用	14,719	16,999	2,280	15.5%
	計	24,225	27,476	3,251	13.4%
JR・IR 以东地区	時間貸し	10,721	11,755	1,034	9.6%
	月極	14,665	12,503	-2,162	-14.7%
	専用	15,941	16,768	827	5.2%
	計	41,327	41,026	-301	-0.7%
JR・IR以西 + JR・IR以东	時間貸し	13,965	16,910	2,945	21.1%
	月極	20,927	17,825	-3,102	-14.8%
	専用	30,660	33,767	3,107	10.1%
	計	65,552	68,502	2,950	4.5%

#### ▼駐車場整備地区及びまちなか駐車場地区の範囲



#### ■2022年(R4)の整備台数と2032年の推計必要台数の比較

	2022年(R4)整備台数	2032年推計必要台数
JR・IR以西	約27,500台	約11,700台
JR・IR以东	約41,000台	約29,000台
合計	約68,500台	約40,700台

※効率的に活用されれば需要に対応できる目安となる駐車台数

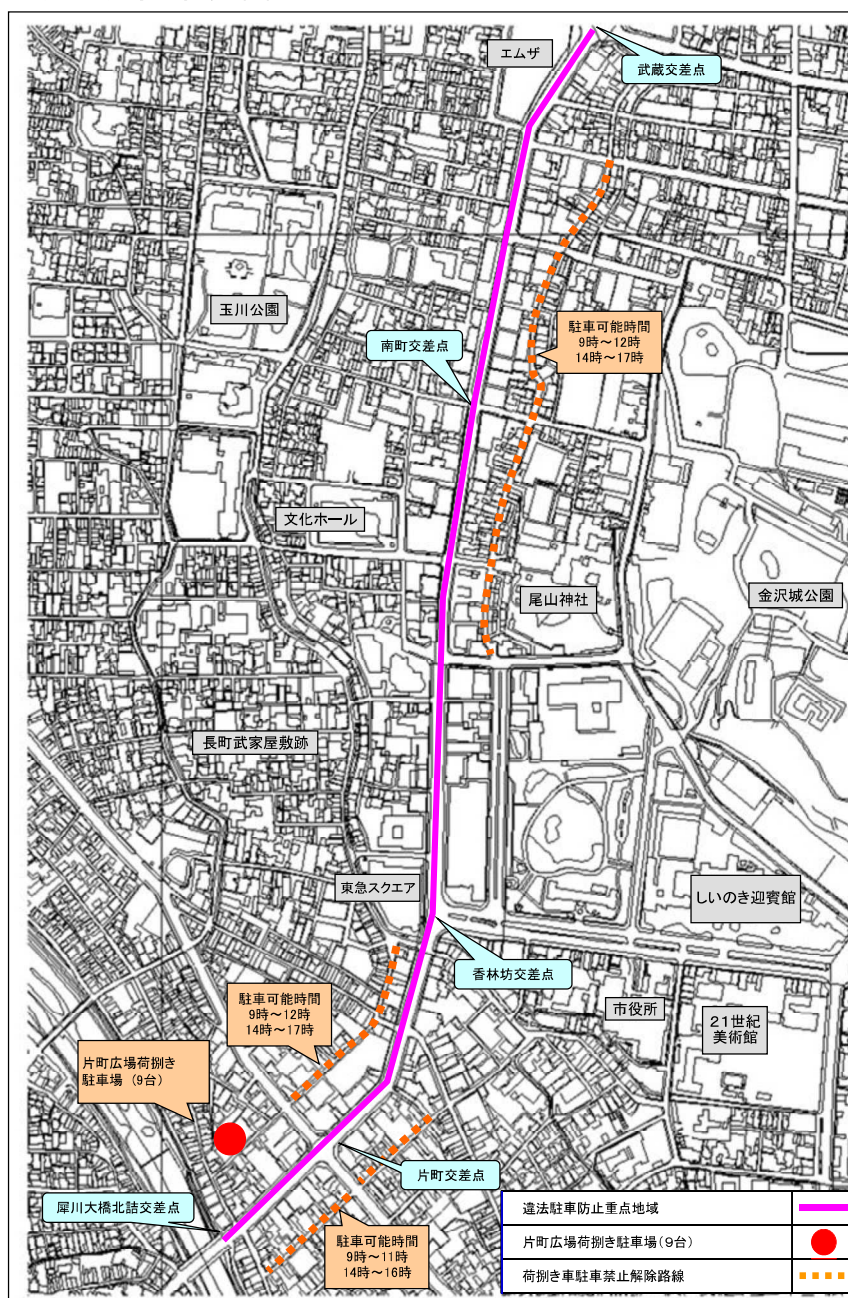
出典：令和4年度 第1回金沢市駐車場適正配置審議会より



#### 4) 荷捌き対策

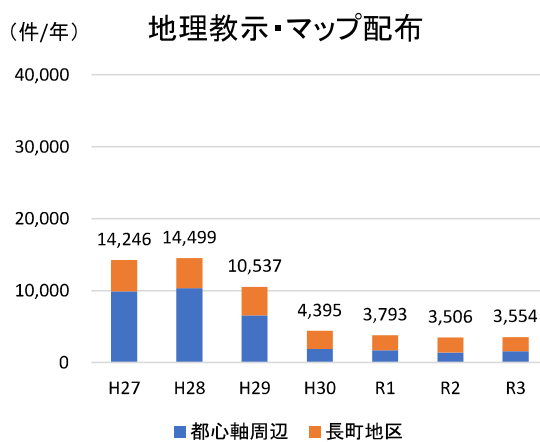
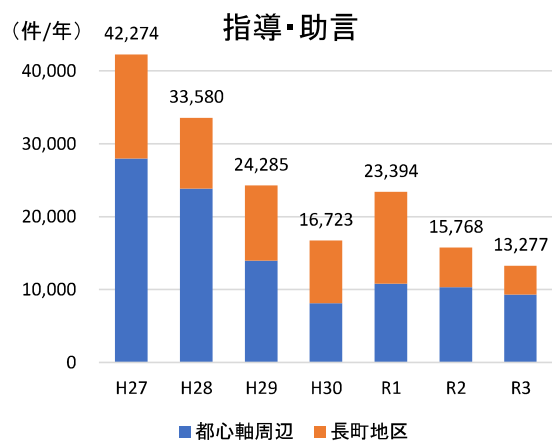
- ・本市では、都心部の国道 157 号の交通混雑を緩和するために、条例に基づく「違法駐車防止重点地域」を定め、交通指導員による違法駐車への減少を図るとともに、荷捌き車両の裏通りへの誘導を行っている。
- ・都心軸周辺や長町地区において継続的に違法駐車に対する指導・助言や地理教示・マップ配布を行ってきた。
- ・荷捌き需要が高い都心部において、市有地（片町広場）を共同荷捌き駐車場として整備を行った。片町広場駐車場の利用台数は年々減少傾向にある（R2年度、R3年度は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少）。

#### ▼違法駐車防止重点地域等の指定範囲



出典：金沢市

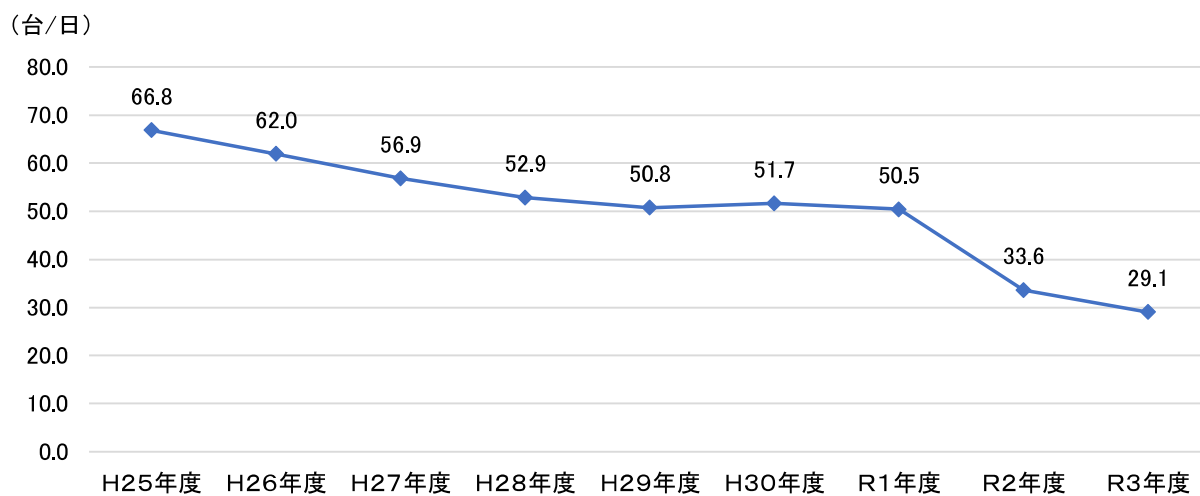
▼違法駐車年間対応件数



出典：金沢市調べ

※都心軸周辺の調査箇所は各年により異なる

▼片町広場荷捌き駐車場 1日平均利用台数（実駐車台数9台）



出典：金沢市調べ